

第58回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：遺伝性難聴に対する精密医療の現状と将来

2024年

10月30日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：松永 達雄先生

(国立病院機構東京医療センター臨床遺伝センター センター長
感覚器センター聴覚平衡覚研究部 部長)

座長：岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：村山圭 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要：難聴の発症は遺伝との関連が強く、先天性難聴者では約80%が遺伝性であり、さらに生後発症する遺伝性難聴者が追加されていきます。難聴の原因遺伝子は非常に多く、難聴だけを発症する遺伝子が150以上、難聴と他の症状を発症する遺伝子は300以上あります。遺伝性難聴はほとんどが蝸牛の異常によるものですが、この器官は外から直接観察したり、一部の組織を採取して調べることができません。各種聴覚検査や画像検査である程度の分類は可能ですが、原因遺伝子の特定はごく一部の患者を除いては不可能です。一方、遺伝学的検査で原因遺伝子が判明すると、その時点の症状や他の検査結果とも合わせて検討することで、より正確に難聴と随伴症状の経過予測、治療方法の選択、再発率の推測などができます。最近10年でこのような難聴の精密医療が著しく進展しました。今年に入ってから難聴の遺伝子治療の劇的効果が報告されるなど、精密医療の範囲が拡大しています。本セミナーでは、本医療の最新情報をお伝えするとともに、国際的潮流も紹介していきます。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/wS55TS5y7MyX1tJF7>

本講演はハイブリッド形式 (現地 + Zoom)

にて開催いたします。

10月29日 (火) 17時締切



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター
村山/金野 (内線72462/5794)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP

